

体が脅かされる恐れがある重大ないじめはない。これは従前から毎学期ごとに独自の調査を行っており、いじめ問題について高い危機意識を持ちながら早期に発見し対応していることや、PTAとの連携の強化の結果と考えている。また、いじめ防止に関する条例の制定については、先行している他都市の事例を見ると、学校だけでなく、保護者や地域など市民全体で考える必要があり、関係部局と研究を進めていきたい。

公明党

空き家条例制定に向けた取り組みの進捗状況

問 本市でも空き家条例の制定に向け検討を進めるとのことであったが、市民の防災・減災意識の啓発と向上を図るうえで、長崎大水害から30周年を迎える本年に、その取り組み状況を明確にすることが重要だと考える。本市が検討している方針を踏まえ、進捗状況を明確に示してほしい。

答 国の空き家対策の考え方や、既に条例を制定している都市の事例を参考に、その必要性や効果について検討を重ねた結果、適正な管理が行われて

いない空き家等を対象とした「空き家等の適正管理に関する条例」を制定する方針を決定したところである。基本的には、建築基準法の適用を円滑にし、また補完する内容として検討しており、運用面では、環境保全や火災予防などの観点も含め、今まで以上に市内で連携を図りたいと考えている。今後は条例の詳細な内容を検討するとともに、必要な事務手続きを行い、平成24年度内の制定を目指したい。

地域猫活動支援事業の成果と今後の取り組み

問 地域猫活動は、地域住民と動物ボランティアが協働して野良猫の世話や繁殖を防ぐ活動で、本市においても一部の地域で取り組まれている。本市では、平成22年度から3年間のモデル事業として地域猫活動支援事業を開始しているが、その成果と今後の取り組みについて伺いたい。

答 3年間の実績は、5地区をモデル地区として認定し、不妊去勢手術を31頭実施した。また、猫の適正飼育の普及啓発を行い、飼育への理解



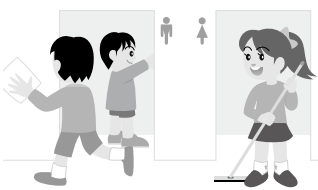
▲地域猫

を深めた。しかしながら、猫好き、猫嫌いなどいろいろな人の意思疎通がうまくいかず、地域猫活動までに至らない地域もあった。そこで、来年度は不妊去勢手術費の助成よりも、猫の飼育に関する理解を深めるため、自治会等を対象とした飼育の説明会などや、地域住民、動物ボランティア、行政との協働による猫の飼育管理の組織づくりをはじめとした活動を推進し、人と動物とが共生できる地域社会の実現に努めていきたい。

学校トイレ5Kの追放への取り組み

問 学校トイレの中には「臭い、汚い、暗い、怖い、壊れている」のいわゆる5Kと言われる状況が見られる。文部科学省において、平成23年11月に「学校トイレ改善の取組み事例集」が示されているが、学校トイレの改善に対する本市の取り組みを伺いたい。

答 学校トイレについては、全国的に新しく整備された学校では快適な環境が整備されているものの、既存施設については老朽化や5K等の問題が課題となっ



ている。本市では、平成5年度から平成8年度にかけてほぼ一通り全校のトイレの環境改善を図り、平成21年2月には国の臨時交付金を活用することで、洋式トイレの少ない小中学校において改修を行った。また、今年度から3か年計画で、避難所機能充実のための体育館のトイレの洋式化を進めている。本市の学校トイレについては、設備の老朽化に対する改修や洋式化への対応などの課題があるので、まずはこれらの改善に取り組んでいきたい。

自由民主党

国旗・国歌「君が代」・愛国心の取り組み

問 教育基本法に「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」とあり、愛国心条項はこれを指すものと考えますが、市内小中学校における国旗・国歌「君が代」の取り扱い及び愛国心の指導状況について伺いたい。

答 平成18年に教育基本法が改正され、これを受けて改訂された学習指導要領でも、伝統や文化に関する教育の